

麻しん患者が国内で増加しています

麻しんの国内発生状況はコロナ禍以降、活動の再開とともに散発的に報告されてきました。2025年に入り、第10週まで（1/1～3/9）の時点で、全国で22例と既に昨年の届出数の半数程度となり、さらに増加しています。なお、関西では大阪府・兵庫県・奈良県で計8例報告されています。

3月から4月にかけて人の移動が多くなりますので、今後の発生動向にご留意いただきますようお願い申し上げます。

【参考】 国立感染症研究所 感染症発生動向調査（全国・第10週まで暫定値）

推定 感染 地域	イタリア/フランス	1件	年代別	乳児	2件	予防 接種歴	なし	6件
	タイ	2件		10歳未満	1件		不明	11件
	ベトナム	9件		20代	8件		1回	3件
	フィリピン	1件		30代	7件		2回	2件
	パキスタン	1件		40代	4件			
	国内 4件	不明 4件						

【医療機関の皆様をお願いしたい対応】

1. 発熱や発しんを呈する患者を診察した際は、海外渡航歴や国内旅行歴、麻しんの罹患歴、予防接種歴の確認など、麻しんの可能性を考慮した診療をお願いします。
2. 麻しんを疑った場合には、直ちに保健所へ情報提供ください（要発生届）。PCRによる行政検査を行います。急性期の検体採取にご協力をお願いします。

<確保いただきたい検体> ※採取容器は連絡時に保健所から至急お届けします

- ① 咽頭ぬぐい液
（専用ウイルス搬送用培地） or （滅菌スピッツ＋生理食塩水1～2cc）1本
 - ② 血液（全血 EDTA入り採血管 2～2.5cc程度）1本
 - ③ 尿（滅菌スピッツ 10cc程度）1本
- ①～③のうち採取可能な複数検体

連絡先

平日：和歌山市保健所 健康危機管理班 TEL（073）488-5109

夜間・休日：和歌山市役所 警備室 TEL（073）432-0001